

| | | |
|----|-------------|-------|
| 作成 | 交通局事業管理部 | 資料 |
| 提出 | 平成28年 6月 2日 | 交 - 4 |
| 理由 | 資料として提出 | |

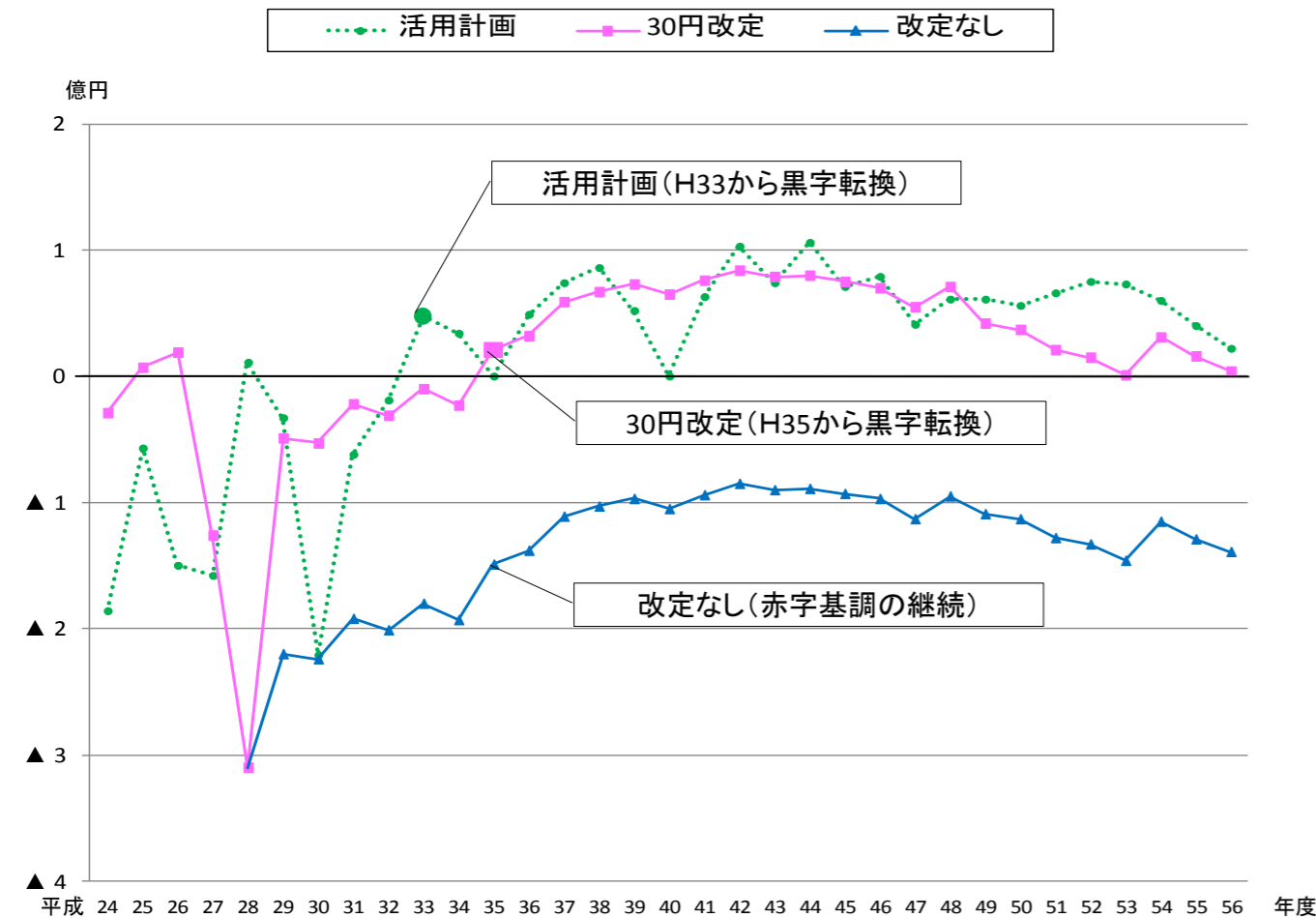
今後の収支シミュレーションについて

●シミュレーションの前提条件

- 料金収入 料金改定は平成29年4月に30円値上げを実施する想定で試算 乗車人員は別紙需要推計（下振れの可能性を考慮した人員）による
- 人件費 平成27年度決算見込ベース（運転手の非常勤化による内部効率化を想定）
- 経費 平成28年度予算ベースで試算
- 減価償却費 既設車両の老朽化対応、停留場の改良工事や軌道改良工事などの実施を想定して試算

●経常収支の推移

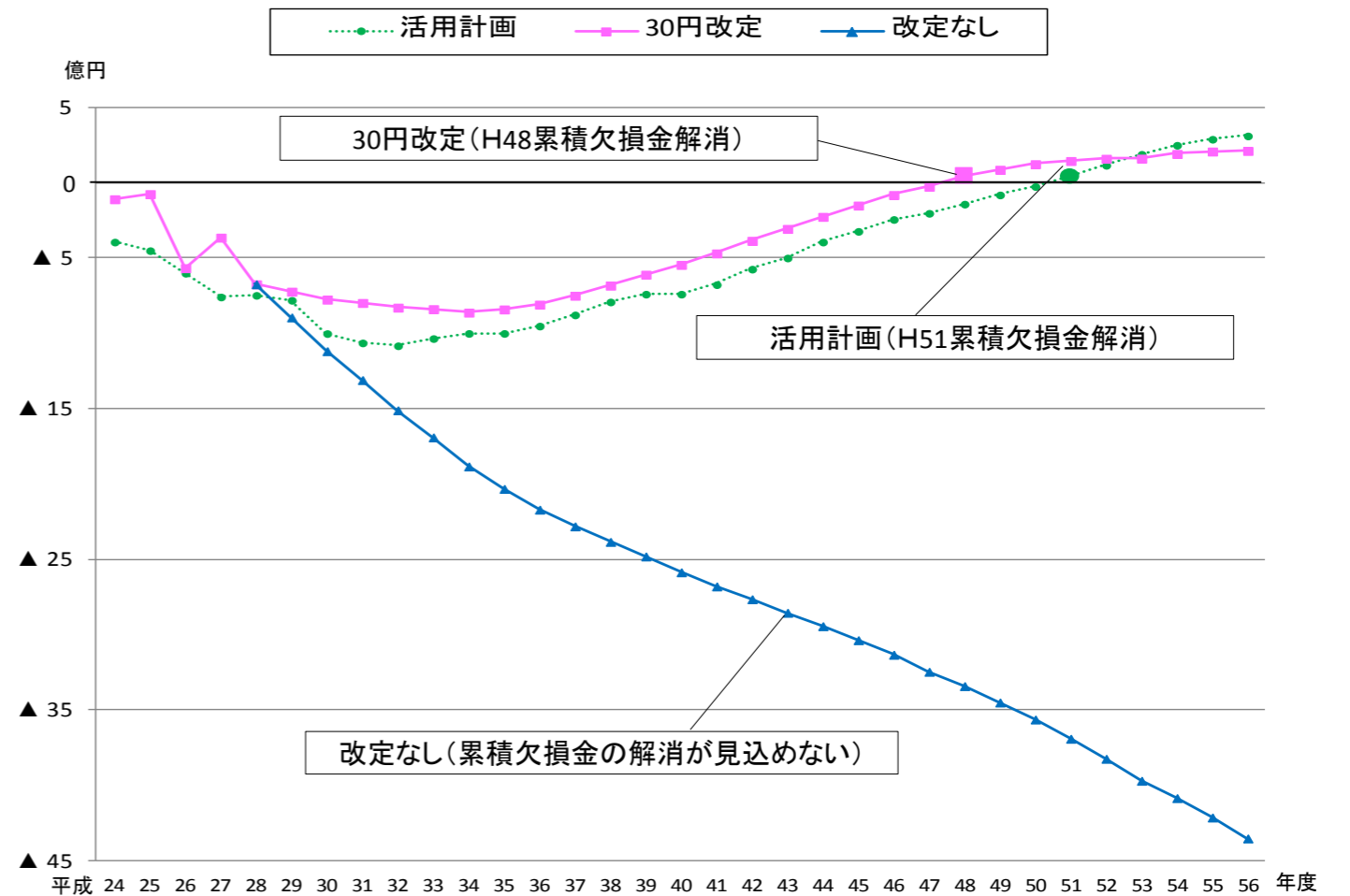
- 30円改定を行った場合は、活用計画から2年遅れとなる平成35年度に単年度黒字に転換する見込み
また、平成36年度以降も活用計画同様に黒字を維持する見込み
- 改定がなかった場合は、黒字化は見込めず赤字基調が継続する見込み



※平成24～26年度は決算値、平成27年度は決算見込値、平成28年度は予算値

●累積欠損金の推移

- 30円改定を行った場合は、活用計画とほぼ同時期である平成48年度に累積欠損金が解消となる見込み
- 改定がなかった場合は、赤字基調の継続により累積欠損金が増大する見込み



※平成24～26年度は決算値、平成27年度は決算見込値、平成28年度は予算値